

南部町総合地震防災訓練



初期消火訓練



佐野町長が視察しました

9月7日（日）に、南部町総合地震防災訓練が各自主防災会を中心に、地域住民が主体となつた避難所開設及び運営訓練、黄色いハンカチ作戦等を新たな訓練項目に加え実施されました。

各家庭（自助）では初期行動訓練、町内28の各自主防災会では避難訓練、安否確認訓練（黄色いハンカチ作戦）、各部消防団による巡回広報訓練、災害時要援護者避難誘導訓練、避難者人員点呼、服装確認訓練、避難者状況報告訓練、災害状況報告訓練、防災会選択式実働訓練、発災後の避難所開設・運営訓練、防災資機材点検訓練等を行いました。



トリアージ講習会



トリアージ訓練

また、万沢地区では、診療所施設と駐車場を会場に負傷者を受け入れる応急仮設救護所を開設し、重症度判定救護訓練（トリアージ訓練）と講習会を実施しました。また、災害対策本部と孤立可能性のある地区との衛星携帯電話通話訓練が行われ、各種訓練では各自主防災会と町民の皆様が真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



避難者受付への記載



蘇生術・AED訓練

今後も訓練内容を検証し、実践的訓練を積み重ねることで地域防災力の向上を図り、「自助」・「共助（協助）」・「公助」のより一層の理解と連携を深め、一人ひとりの防災意識の高揚、災害時応急対策が速やかに行えるよう防災・減災体制の重要性について認識を新たにしました。



放水訓練



黄色いハンカチ作戦



発電機操作訓練

今回は佐野町長、消防団副団長が町内数地区を巡回し、訓練状況を観察いたしました。また、南部豪農會の方々にも訓練参加をいただき、より効果的な訓練となりました。

ぴゅあ峡南フェスティバル 10月26日(日)開催



国道469期成同盟会から
静岡県 川勝知事に要望書を提出しました



富士宮市 須藤市長から
山梨県 平出副知事に要望書を手渡しました



トップで発表しました



足腰の運動

静岡県4市1町と山梨県南部町でつくる国道469号（富士南麓道路）建設促進期成同盟会（会長・須藤富士宮市長。副会長・佐野南部町長）の関係者は、川勝静岡県知事を訪問し、未着手、未改良部分の早期着工を要望しました。また、8月4日(月)に期成同盟会正副会長が山梨県庁を訪問し、平出副知事及び大野県土整備部長に南部町十島から富士宮市北山までのルート未定区間の早期決定を強く要望をしました。

また、静岡県富士市、富士宮市と山梨県南部町、身延町で構成する新々富士川橋建設促進期成同盟会（会長・小長井富士市長、副会長・佐野南部町長）は、新々富士川橋建設については、

道富士由比線の富士川橋及び富士川身延線の交通渋滞解消は無論の事、新東名新富士インターチェンジへのアクセスを容易にするものであり、両県の富士川流域地域の活性化が図られると共に、災害時の緊急輸送路・防災対策強化に繋がるものと大いに期待するもので、事業の促進と新々富士川橋の早期着工及び早期完成を要望しました。

席上、川勝静岡県知事は、平成27年度中には、富士山・富士川の眺望と景観にふさわしい新々富士川橋に着手し、さらに、現在事業実施中のアクセス道路の整備を積極的に進め早期に完成させ方針を示しました。町では、平成29年度の中部横断自動車道の開通を見据え、事業の早期完成に向けてこれからも要望活動を展開してまいります。

この成果報告会は3年に一度、持ち回りで開催されています。

報告会では山梨県南部町、身延町、青森県八戸市、南部町、七戸町、三戸町、岩手県の盛岡市、一戸市、遠野市、の9市町の首長がそれぞれ特色のある政策を報告しました。

山梨県南部町佐野町長は、インフラ整備、定住対策の第一歩として供用を開始したグリーンハイツ富士見、企業誘致、防災・減災対策等、南部町としての取り組みを報告しました。

国道469号建設促進と新々富士川橋建設促進状況

平成・南部藩「地域づくり成果報告会」

筋力若返り運動

8月27日㈬ 向田区・御堂区にて筋

力若返り運動が行われました。

今年度より、みんなで筋力アップ

!!若返ろう!!」をスローガンに、福祉保健課で実施しておりますこの運動は

健康維持、筋力アップ、腰痛・ひざ痛などの予防などを目的とし取り組んでいます。毎回笑顔が絶えず、楽しく優しい運動となつてあります。現在町内各所を巡回しておりますので気軽に参加してください。

周知については、開催時期に組長配布にて全戸配布しておりますのでご確認下さい。